

柳井市道路舗装個別施設計画

令和3年3月

柳 井 市

目 次

1. 計画策定の位置付けと目的	1
2. 対策路線の選定と対策優先順位の考え方	1
(1) 対策優先順位の項目設定	
(2) 道路分類の設定	
3. 対象路線	3
4. 個別対象路線の状態等	3
(1) 舗装の健全度	
5. 対策内容	5
(1) 対策内容の方針	
(2) 舗装対策の選定	
6. 計画期間と定期点検	7
7. 実施時期と対策内容	8
8. 対策費用	9

1.計画策定の位置付けと目的

柳井市道路舗装個別施設計画は、将来の維持管理等のあり方についての方針を示した「柳井市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に基づき、交通の安全・安心を確保するため、柳井市土木課が管理する道路舗装の将来にわたる補修や更新コストの縮減と事業費の平準化等を図り、舗装修繕の優先順位や対策工法を決定し計画的な維持修繕を行うものです。

2.対策路線の選定と対策優先順位の考え方

道路は、“人”・“物”を安全・安心および円滑に移動させるという重要な役割を担い、特に地域の生活に大きな影響を及ぼすことに留意し、対策優先順位の項目設定や道路分類の設定により対策路線の選定を行いました。

（１）対策優先順位の項目設定

対策優先順位の項目は、道路の役割、整備の効果・効率を考慮し、表 2.1 に示すとおりです。

番号	対策優先度項目		目 的
1	舗装健全度	安心・安全	安全で円滑な交通の確保
2	避難経路		災害時における経路確保
3	通学路		児童の安全確保
4	D I D 地区	整備の効率化	利用者の多い道路の整備
5	道路幅員		

表 2.1 対策の優先順位の項目

(2) 道路分類の設定

道路分類の設定は、道路の分類イメージを表 2.2 のとおり道路のそれぞれの特性により区分し柳井市の道路は分類 C・D 区分を適用します。

分類 C は「損傷の進行が緩やかな道路等」、分類 D は「生活道路等」に区分され、舗装損傷は図 2.3 に示すとおり、交通量に応じて緩やかに劣化していくため、大型車交通量が多い条件と推定される道路平均幅員 5.5m 以上の路線を分類 C に、道路平均幅員 5.5m 未満の路線を分類 D としました。

特性	分類	主な道路※2 (イメージ)	マネジメントのあり方
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス 水準が高い道路)	A	高速道路	・表層等の適時修繕による路盤以下の層の保護を目的に、点検を実施 ・走行性、快適性を重視した路面管理の実施
・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B	直轄国道 補助国道・県道	・表層等の適時修繕による路盤以下の層の保護を目的に、点検を実施 ・修繕サイクルを長くしていくため、早期劣化箇所の原因把握と適切な措置や、使用目標年数を意識した管理の実施 ・走行性、快適性を考慮した路面管理の実施
・損傷の進行が 緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)	C	政令市一般市道	・基本的に長寿命であることから、各道路管理者が点検サイクルを定めて適切に管理
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事 等の影響が無ければ長寿命)	D	市町村道	・巡視の機会を通じた路面管理

表 2.2 道路の分類イメージ

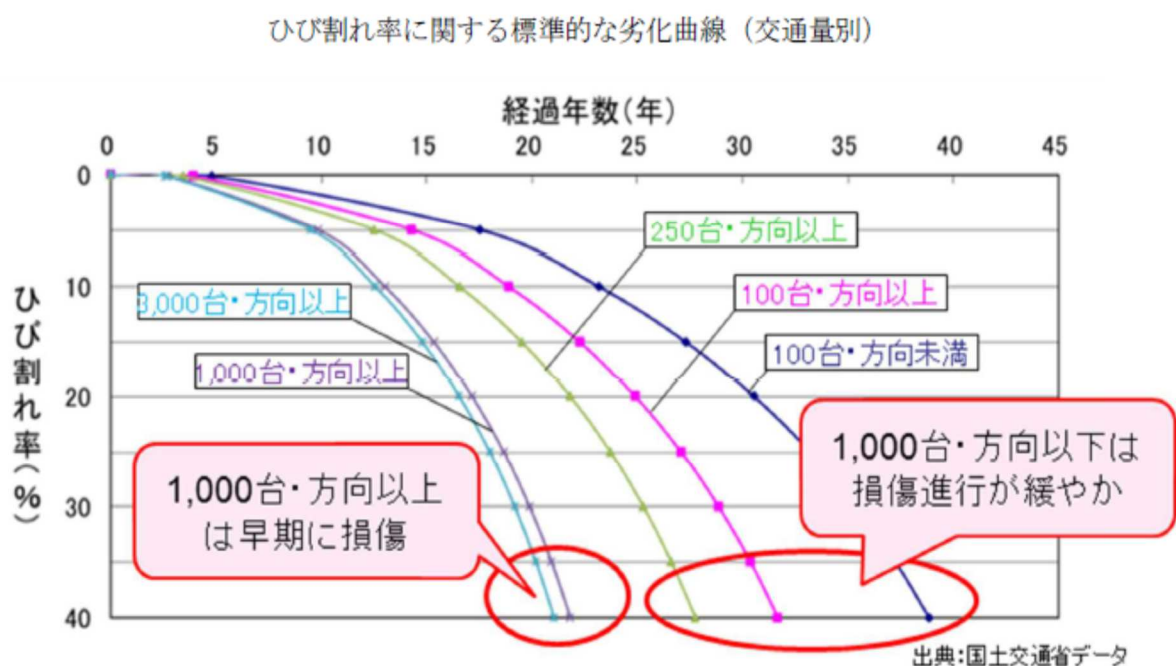


図 2.3 ひび割れ率に関する標準的な劣化曲線 (交通量別)

3.対象路線

柳井市の道路舗装個別施設計画の対象路線は、表 3.1 のとおりです。

道路種別	路線番号	路線名称	区間長	平均車道幅員	道路分類
1級	1034	古開作中開作線	461	10.4	分類C
	1041	柳井駅和田橋線	1,300	9.0	分類C
	1083	柳井田布施線	4,196	6.0	分類C
	1088	北部柳井田布施線	3,617	7.8	分類C
	1178	馬皿新庄線	1,177	9.4	分類C
	3001	久可地大原線	7,165	7.4	分類C
	4016	法師田線	1,226	7.3	分類C
その他	1008	港樋ノ上線	3,173	4.8	分類D
	1020	大水道大屋線	1,259	6.9	分類C
	1053	久保町新屋敷線	208	9.4	分類C
	1127	みずほ境開線	974	9.1	分類C
	1166	東中割線	318	9.4	分類C
	1170	柳町線	306	10.5	分類C
	1225	三本松南町線	2,440	9.6	分類C
	1226	南町小木尾線	2,192	7.1	分類C
	4028	新庄余田線	722	9.6	分類C
総計			30,734	7.5	

表 3.1 柳井市道路舗装個別施設計画対象路線

4.個別対象路線の状態等

個別対象路線の状態は、経年劣化や疲労等により刻々と変化することから、路面性状調査結果等により中長期的な計画期間を策定することにより維持管理費等の見通しを行いました。

(1) 舗装の健全度

路面性状調査結果により、図 4.1 のとおり M C I（維持管理指数）により舗装健全度の延長と比率の現状を把握しました。

ここで、M C I 4 以下を修繕が必要な区間と仮定すれば、約 8.7 k m の修繕が必要となります。また、M C I 評価と舗装点検要領評価の関係は表 4.2 のとおりです。

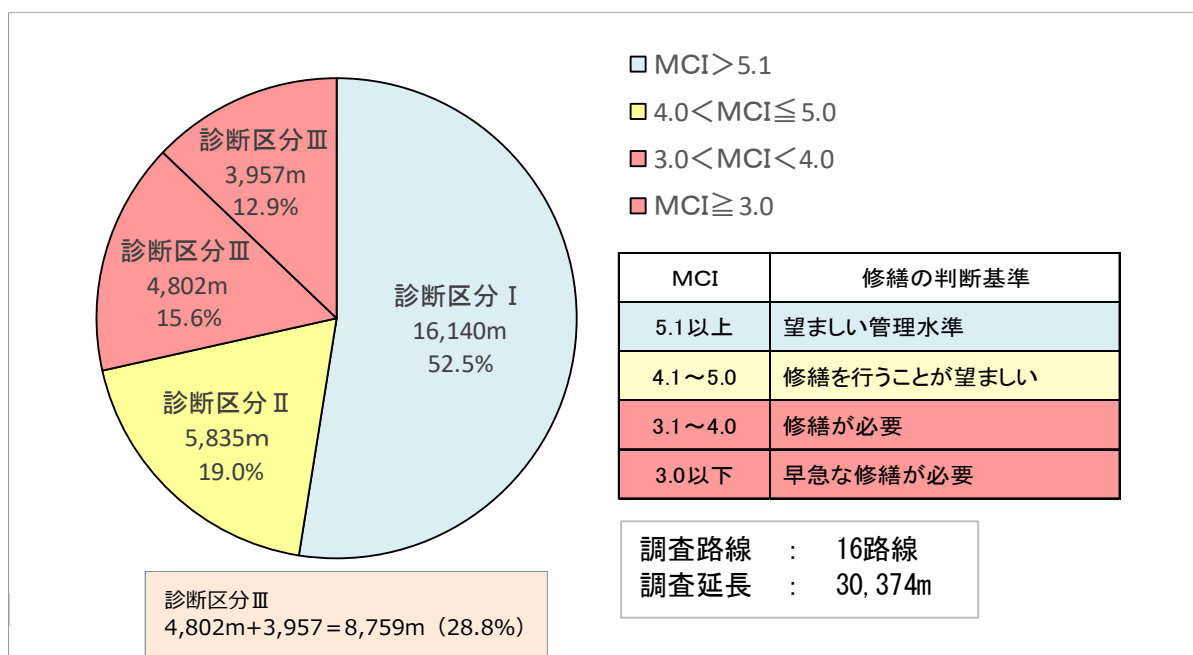


図 4.1 舗装健全度（MCI 区分）の延長と比率

評価区分	評価内容	診断区分Ⅰ	診断区分Ⅱ	診断区分Ⅲ
舗装健全性区分	MCI	5.1以上	4.1～5.0	4.0以下
評価区分	評価内容	損傷レベル小	損傷レベル中	損傷レベル大
ひび割れ損傷レベル	ひび割れ率(%)	20未満	20.0～39.9	40.0以上
わだち掘れ損傷レベル	わだち掘れ量(mm)			

表 4.2 MCI 評価と舗装点検要領評価の関係

「維持管理指数 MCI (Maintenance Control Index)」

MCI は、道路管理者の立場からみた舗装の維持修繕の要否を判断する評価値であり、ひび割れ率、わだち掘れ深さおよび平坦性より求められます。MCI は 0～10 の値で評価され、値が大きいほど MCI が良く（路面性状が良好）、逆に値が小さいほど MCI が悪い（路面性状が劣悪）ことを表します。

5. 対策内容

(1) 対策内容の方針

施工の効率化や長寿命化などを考慮し、従来対策や長寿命化対策の方針は以下のとおりです。

【従来対策】

○事後保全対策でオーバーレイ工法を繰り返し行う。

【長寿命化対策】

○予防的な維持として、オーバーレイ系の管理水準の手前でシール材注入を実施し、舗装の延命化を図ります。ただし、ひび割れが進行した状態では、効果は低いため、MCI 5.0（ひび割れ率 15%）相当、線状ひび割れが延長方向に 1～2 本以上発生している状況）を下回る場合とします。

○表層打換え系は、表基層打換えやオーバーレイ工を基本とし、既設舗装のひび割れに関して処置を行わずにアスコンによるオーバーレイを行った際は、走行荷重が加わることによって早い時期に既設舗装のクラックが新設面に伝播し、リフレクションクラックと呼ばれるクラックが発生するため、新規オーバーレイ層へのリフレクションクラックの発生を抑制あるいは遅延させるため、表層舗設に先立ってシート工法や長寿命化アスファルト混合物を用いるなど、クラック対策を行います。このため、クラック抑制効果が高い長寿命化アスファルト混合物等を使用します。

○打換え系工法は施工費が高価となることや、施工ヤードなどの現場における制約があることがあります。ただし、当初の設計交通量よりも著しく交通量が増加し路盤の損傷が進行している区間については、詳細調査により路盤を含めた舗装打換え措置等の修繕を実施します。

(2) 舗装対策の選定

対象路線の代表交通量は、幅員 5.5m 以上の道路で「N4」交通前後 5.5m 未満で「N2」前後としました。設計 CBR は路上 CBR 試験の全体平均値より求めた設計 CBR 「8」を用い、補修時の修繕工法対策の等値換算厚より、舗装の耐用年数を推定し舗装の劣化予測を行いました。

このため、対策工法の選定は、幅員 5.5m 以上の場合は長寿命化対策の対応年数 図 5.1 対策案 A・B の何れかとします。また、幅員 5.5m 以下の場合は長寿命化対策の対応年数 図 5.2 対策案 C のとおりとします。

交通区分：N4、設計CBR：8 条件の修繕対策案の検討結果				
項 目		既設舗装の評価		
既設舗装構成図	厚さ (cm) 係数 各層のTA0			
	既設アスコン	5.0 × 0.60 =	3.00	
	既設上層路盤	15.0 × 0.25 =	3.75	
	既設下層路盤	15.0 × 0.20 =	3.00	
	路 床			
		設計CBR:8		
		既設舗装厚計	: 35.0 ①残存TA0計 9.75 ②必要TA 14.00 ①-② -4.25	
①交通量区分		N4		
②必要等値換算厚 (10年・信頼度90%)		14		
③疲労破壊輪数 (回/10年)		150,000		
④残存等値換算厚 (Tao)		9.75		
⑤不足等値換算厚 (②-③)		△ 4.25		
項 目	対策案A (一般設計) 「表基層打換え工法 8cm」	対策案B (TA期待値設計) 「表層打換え工法 5cm」		
修繕後の舗装構成図	密粒度AC13 (ストP1)	4.0	密粒度AC13 (長寿命化改質)	5.0
	粗粒度AC20 (ストP2)	4.0		
	既設上層路盤	12.0	既設上層路盤	15.0
	既設下層路盤	15.0	既設下層路盤	15.0
	路 床		路 床	
		※長寿命化改質ACのTa係数を1.7とする。		
⑥補修後の等値換算厚 (TA)	14.00	15.25		
⑦直接工事費 (円/㎡)	3,100	4,700		
⑧補修後の疲労破壊輪数 (⑥*(CBR ^{0.3} /3.84)) ² (1/0.16)	160,149	273,313		
⑨耐用年数の期待値 ⑧/③*10	10.7	18.2		
⑩年間コスト ⑦/⑨ (円/㎡・直工)	290	258		
総合評価	△	◎		
	初期コストは安価であるが、耐用年数の期待値は対策案Bに比べて劣る。	初期コストは高価であるが、耐用年数の期待値は対策案Aに比べ優れ年間コストが約1割程度削減可能である		

図 5.1 長寿命化対策の耐用年数結果 (幅員 5.5m 以上の条件を想定)

TA_aの計算に用いる換算係数

既設アスコン 0.60 ※MCI4.0 はひび割れ率 30%程度を考慮し中度下限値 0.6 を採用
 既設上層路盤 0.25 ※中度 0.20~0.35 中央値を採用 (0.5 ラウンド切り捨て)
 既設下層路盤 0.20 ※中度 0.15~0.25 中央値を採用 (0.5 ラウンド切り捨て)

出典：(公社) 日本道路協会発行 舗装設計便覧 P93

長寿命化改質 AC 1.7 ※従来のアスファルト混合物と長寿命化改質アスファルト混合物の特性との比較による

交通区分：N2、設計CBR：8 条件の修繕対策案の検討結果		
項 目	既設舗装の評価	
既設舗装構成図	厚さ (cm) 係数 各層のTA0	
	既設アスコン	$5.0 \times 0.60 = 3.00$
	既設上層路盤	$10.0 \times 0.25 = 2.50$
	既設下層路盤	$10.0 \times 0.20 = 2.00$
	路 床	
	設計CBR：8	
	既設舗装厚計：25.0	①残存TA0計 7.50 ②必要TA 9.00 ①-② -1.50
①交通量区分	N2	
②必要等値換算厚 (10年・信頼度90%)	9	
③疲労破壊輪数 (回/10年)	7,000	
④残存等値換算厚 (TA0)	7.50	
⑤不足等値換算厚 (②-③)	△ 1.50	
項 目	対策案C (一般設計) 「オーバーレイ工法 3cm」	
修繕後の舗装構成図	密粒度AC13 (スト7s)	3.0
	既設アスコン	5.0
	既設上層路盤	10.0
	既設下層路盤	10.0
	路 床	
⑥補修後の等値換算厚 (TA)	10.50	
⑦直接工事費 (円/㎡)	1,500	
⑧補修後の疲労破壊輪数 (⑥*(CBR ^{0.3} /3.84)) ^{1/0.16}	26,525	
⑨耐用年数の期待値 ⑧/③*10	37.9	
⑩年間コスト ⑦/⑨ (円/㎡・直工)	40	
総合評価	○	
	初期コストは安価であるが、道路舗装が既設より高くなることで宅地等の出入りの調整や占用物件の嵩上げ等が必要となる。	

図 5.2 長寿命化対策の耐用年数結果 (幅員 5.5m未満の条件を想定)

TA0の計算に用いる換算係数

既設アスコン	0.60	※MC14.0 はひび割れ率 30%程度を考慮し中度下限値 0.6 を採用
既設上層路盤	0.25	※中度 0.20~0.35 中央値を採用 (0.5 ラウンド切り捨て)
既設架装路盤	0.20	※中度 0.15~0.25 中央値を採用 (0.5 ラウンド切り捨て)

出典：(公社)日本道路協会発行 舗装設計便覧 P93

6. 計画期間と定期点検

定期点検を 5 年に 1 回とし、点検間隔が確認できるように計画期間は 10 年とします。なお、点検結果により適時計画を変更します。

点検手法は、道路の特性や地域の実情を踏まえ、目視や機器を用いたものとし、表 6.1 のとおりです。

分類名	点検手法	点検頻度
分類C	路面性状調査による測定	5年に一度程度
分類D	巡視の機会を通じた路面状況の把握	日常パトロール

表 6.1 点検手法、点検頻度の設定内容

7. 実施時期と対策内容

路線ごとの実施時期と対策内容は、令和4年（2022年）から令和15年（2033年）の12箇年を予定し表7.1のとおりです。

表 7.1 路線ごとの実施時期と対策内容

対策年度	道路分類	級種	路線番号	路線名称	距離標		延長 (m)	平均 MCI	評価点	幅員 (m)	適用 対策案	対策内容	備考
					自(m)	至(m)							
2022	分類C	その他	1127	みずほ境開線	240	680	440	3.7	81	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1034	古開作中開作線	180	461	281	3.6	89	10.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	3520	3617	97	2.7	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2023	分類C	その他	1226	南町小木尾線	0	240	240	3.4	80	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	940	1400	460	2.8	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1041	柳井駅和田橋線	760	960	200	3.3	91	9.0	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2024	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	1400	2140	740	2.8	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1020	大水道大屋線	0	880	880	3.0	84	6.9	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	4016	法師田線	150	560	410	2.6	87	7.3	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2025	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	640	840	200	3.1	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1083	柳井田布施線	280	365	85	3.8	90	6.0	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	4016	法師田線	0	150	150	2.6	87	7.3	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2026	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	2320	2750	430	3.3	87	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	3001	久可地大原線	940	1100	160	2.6	86	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類D	その他	1008	港樋ノ上線	1800	1880	80	3.3	83	4.8	対策案C	オーバーレイ3cm 密粒度AC13(スト7入)	
2027	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	2750	3440	690	3.3	87	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1166	東中割線	0	180	180	4.0	84	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2028	分類C	1級	1178	馬皿新庄線	60	120	60	3.9	83	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1225	三本松南町線	1640	1720	80	3.8	83	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	0	400	400	2.9	82	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2029	分類C	1級	3001	久可地大原線	1760	2020	260	3.0	80	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	400	560	160	2.9	82	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1226	南町小木尾線	1820	1900	80	2.8	80	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2030	分類C	その他	1127	みずほ境開線	0	180	180	3.7	80	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	1178	馬皿新庄線	880	940	60	3.8	80	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1225	三本松南町線	1340	1480	140	3.8	79	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2031	分類C	その他	1127	みずほ境開線	800	900	100	3.9	78	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1226	南町小木尾線	480	980	500	3.8	77	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	3001	久可地大原線	720	840	120	3.4	75	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2032	分類C	1級	4016	法師田線	620	740	120	3.8	75	7.3	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	4028	新庄余田線	0	450	450	3.5	73	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
2033	分類C	その他	4,028	新庄余田線	450	722	272	4	73	10	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	その他	1,226	南町小木尾線	1,300	1,440	140	4	71	7	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
	分類C	1級	3,001	久可地大原線	6,340	6,480	140	4	69	7	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	
合 計							8,985						

8. 対策費用

路線ごとの対策費用は表8.1によるものとし、全体対策予算は約570百万円を予定し計画的に対策を行います。

表 8.1 路線ごとの対策費

道路 分類	級種	路線 番号	路線名称	距離標		延長 (m)	平均 MCI	評価点	幅員 (m)	適用 対策案	対策内容	対策費 (千円)	備考
				自(m)	至(m)								
分類C	1級	1041	柳井駅和田橋線	760	960	200	3.3	91	9.0	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	14,382	
分類C	1級	1083	柳井田布施線	280	365	85	3.8	90	6.0	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	4,075	
分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	640	840	200	3.1	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	12,464	
分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	940	2140	1200	2.8	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	74,786	
分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	3520	3617	97	2.7	90	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	6,045	
分類C	1級	1034	古開作中開作線	180	461	281	3.6	89	10.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	23,350	
分類C	1級	4016	法師田線	0	560	560	2.6	87	7.3	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	32,663	
分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	2320	3440	1120	3.3	87	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	69,801	
分類C	1級	3001	久可地大原線	940	1100	160	2.6	86	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	9,460	
分類C	その他	1020	大水道大屋線	0	880	880	3.0	84	6.9	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	48,515	
分類C	その他	1166	東中割線	0	180	180	4.0	84	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	13,519	
分類C	1級	1178	馬皿新庄線	60	120	60	3.9	83	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	4,506	
分類D	その他	1008	港樋ノ上線	1800	1880	80	3.3	83	4.8	対策案C	オーバーレイ3cm 密粒度AC13(ストアス)	979	
分類C	その他	1225	三本松南町線	1640	1720	80	3.8	83	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	6,136	
分類C	1級	1088	北部柳井田布施線	0	560	560	2.9	82	7.8	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	34,900	
分類C	その他	1127	みずほ境開線	240	680	440	3.7	81	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	31,992	
分類C	1級	1178	馬皿新庄線	880	940	60	3.8	80	9.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	4,506	
分類C	1級	3001	久可地大原線	1760	2020	260	3.0	80	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	15,373	
分類C	その他	1127	みずほ境開線	0	180	180	3.7	80	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	13,088	
分類C	その他	1226	南町小木尾線	0	240	240	3.4	80	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	13,615	
分類C	その他	1226	南町小木尾線	1820	1900	80	2.8	80	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	4,538	
分類C	その他	1225	三本松南町線	1340	1480	140	3.8	79	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	10,739	
分類C	その他	1127	みずほ境開線	800	900	100	3.9	78	9.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	7,271	
分類C	その他	1226	南町小木尾線	480	980	500	3.8	77	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	28,365	
分類C	1級	3001	久可地大原線	720	840	120	3.4	75	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	7,095	
分類C	1級	4016	法師田線	620	740	120	3.8	75	7.3	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	6,999	
分類C	その他	4028	新庄余田線	0	722	722	3.5	73	9.6	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	55,380	
分類C	その他	1226	南町小木尾線	1300	1440	140	3.9	71	7.1	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	7,942	
分類C	1級	3001	久可地大原線	6340	6480	140	3.9	69	7.4	対策案B	表層打換え5cm 密粒度AC13(長寿命化改質)	8,278	
合 計						8,985						570,762	